

馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が「馬」ではなく「人間」である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この「馬の耳」を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。



発行日 2009年1月1日

発行元 (有)沼津電話工事

小野博文

〒410-0022 静岡県沼津市大岡3916-8

055-921-1551 tel

055-922-1144 fax

<http://www.net-ndk.co.jp/>

ono@net-ndk.co.jp

【理念】

明けましておめでとうございます。

年末年始はいかがお過ごしだったでしょうか？お正月は、おせちをおつまみに、陽の高いうちからお酒を呑んでも、文句を言われないので、本当にいいですねっ！

って、のん気なことを言っていられない景気に、昨年からなってしまうました。

こんな状況下こそ、企業の「理念」が重要になってくるのだと思います。

「理念」の重要性は、杉井先生をはじめ、様々な勉強会で聞いてきましたので、沼津電話でも理念らしきものを掲げて経営してきたつもりです。

しかし今回、大変な事が起きました！

うちの会社の理念を、盾に彫ることになったのです。私の親友、いや大先輩に、鈴木教司さんという方がいます。教司さんは、焼津で手作り家具屋さんを経営しているのですが、その傍ら、自分の書を楯に刻む事もしているのです。今年の秋には、ニューヨークのマンハッタンで、個展を開く予定もあるそうです。その教司さんが、事務所移転の記念に、沼津電話の理念を楯に彫ってくださるというのです。

ゴホン！そうなりますとお～ 一生ものですから、「理念らしきもの」ではまずいのです！（汗）

ということで、理念をもう一度しっかり考える良い機会を頂きました。

昨今、世の中は人が信じられなくなり、人間関係も悪くなり凶悪な事件も頻繁におきています。争いだらけの世の中では、決して穏やかな生活は出来ません。私は、子供たちが安心して生活できる世の中を願っていますし、人と人とのあたたかいコミュニケーションを大切にして、家庭や会社、そして地域を穏やかなものにしていきたいと思っています。これが私の思いであり、願いなのです。

その願いをもとに出来上がったものが、「あたたかさやさしさで、より安心して安全な社会の実現に貢献する」という経営理念です。

先日、その理念が掘り込まれた楯が、うちの会社に届きました。玄関を開けると正面にド～ンと飾られているため、毎朝一読して会社に入っています。「経営理念」や教司さんの作ってくれた「楯」に恥じない会社を作っていきます！

沼津経営塾開催日

1月15日(木) 市民文化センター第四会議室 PM7:00より

【安心安全事業部】

今回、理念を考えていく中で、「安心・安全」というキーワードが浮んできました。そして、その言葉を理念の中にも入れさせて頂きました。

正直、「安心・安全」という言葉をあまり意識したことはありませんでしたが、穏やかで、やさしい社会を作っていくには、とても重要で、外す事の出来ない言葉です。そこで、「安心・安全」をテーマに、我社に何が出来るのかを考えてみました。

「安心・安全」というと、「食」「健康」「医療」「環境」「災害」「危機管理」等等、かなり広い範囲で、様々な分野のものが浮んできますが、沼津電話がすぐお手伝いできる「安心・安全」は、何と言っても「セキュリティ」の分野だと思っています。

高潮を通報する装置や、上水道の水位監視、保育園・幼稚園や企業向けの防犯カメラなど、皆さんには見えにくいところで安心と安全を提供しているのです。最近では地域の保育園20園以上に、110番通報装置を設置させていただきました。

しかし、社名に「電話工事」とあるため、どうしても電話工事の会社だと思われて「セキュリティ」の分野についての認知は今一つでした。

ですが、これからは私の願いである「安心・安全な社会」の為に、この事業に力を注いでいきたいと思っています。そこで今年から「安心・安全事業部」を立ち上げる事にしました。

本当は通報装置も防犯カメラも作動しないほうがいいですし、無くて生活できるほうが良いのかもしれませんが、残念なことに信じられない事件や事故が、私たちの周りで起きるようになってしまいました。弱い立場の子供や女性が被害に遭ったり、ドアを開けたとたん刺されてしまう恐れがあるのが現実です。そうした事件や事故を防ぐには、やはり機械の手を借りたほうが安全だと思うのです。

「安心・安全事業部」では、紙一枚の情報セキュリティから、外出先からでも監視できる防犯カメラまで幅広くお手伝いして、少しでも皆様に貢献できればと思っております。

どんなことでもお気軽にご相談ください！

【記憶メディアの変革期】

映像や画像等のデータを保存する記憶メディアが、世代交代のピッチを早めています。すでにDVDもピークをすぎ減少期に入っています。専門家は「残すデータを厳選し、複数のメディアに保存する事」を勧めています。互換性の問題で、せっかくの「思い出の映像」を見る事が出来なくなっちゃうかも、しれませんからねっ！



お馬様の
今日の一言

役者
役者
お馬様